

2016年3月7日
差替え致しました



ラルシュかなの家・J CMA静岡部会 共催

バングラデシュ派遣 岩本直美ワーカー活動報告会

のお知らせ

2008年からバングラデシュのラルシュ・マイメンシンで活動してきた岩本直美ワーカーが3月に一旦帰国します。この度、活動報告会を「ラルシュ・かなの家」でも開催することとなりました。

皆様、ご参加ください。今の時に、私たちにとって一番大切なことは何かを学びあいましょう。

日時： 2016年 4月 9日（土曜） 午前10時～11時30分

場所： ラルシュかなの家 「まどい」 静岡市葵区安倍口新田65-5

内容： 活動報告 「弱さがまく種の物語」

岩本 直美 氏 J O C S（日本キリスト教海外医療協力会）ワーカー



プロフィール

看護師・滋賀県出身。大津赤十字看護専門学校卒業後、地元の病院や福祉施設で、障がい児療育に携わる。途上国で働くことを願いアジア諸国に滞在し、福祉施設やNGOでボランティアとして働く。JOCSワーカーとして、1993年からバングラデシュで活動を始め、障がいのある人たちの自立支援に携わる。2008年からラルシュ・マイメンシンで、コミュニティづくりに携わっている。日本キリスト教団 大津教会会員

活動報告内容

わたしはマイメンシンのラルシュコミュニティで、知的な障がいのあるたちと共に暮してきました。家族に捨てられ、障がいのゆえに自分のいのちを守ることのできない弱い人たちとの暮らしは、ごく単純な日常の繰り返しでした。しかしそれを振り返ってみる時、そこにたくさんの小さな花をみとめることができます。それはやさしさの花、喜びの花、悲しみ花、平和の花でしょうか。弱さがまく種から咲く花々は、それはそれは美しいものです。そしてそうした花の一つは、実は私自身の弱さがまいた種から生まれたものであることにも気づきます。わたしがお話ししたいのは、弱さからまかれた一つ一つの種がどんな花を咲かせたのか、その物語です。

・ラルシュかなの家「まどい」への行き方

〔静鉄バス〕 JR静岡駅北口9番乗り場 美和大谷線 足久保団地行き・美和団地行き・奥長島行き
安倍口郵便局前 下車〔所要時間 約30分〕
バス停の先の一つ目の角を左に入る。徒歩3分。2階建ての建物です。

〔自家用車の方〕 まどいの駐車場に停めてください。いっぱいの際は、他の場所（つどい）に案内します。

・問い合わせ先 ラルシュかなの家 佐藤 言 Tel 054-206-0830
こひつじ診療所 J CMA静岡部会 武井 陽一 Tel 0538-23-0660

4月10日（日）10時～11時45分 場所：浜松・アクト研修交流センター401号室（楽器博物館4階）
にて、岩本直美氏にひき続き、同じテーマで証しをして頂きます。ご自由にこちらにもご参加ください。

主催：浜松聖書集会（代表：武井陽一） 後援：ラルシュかなの家